

令和 7 (2025) 年度事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

一般財団法人 関西情報センター

目次

一. 概 況	1
二. 総務事項	2
三. 事 業	4

1. 調査研究、普及・啓発事業

<情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

(1) A I ・ I o T活用によるビジネス・イノベーションに関する調査

ー e-K a n s a i レポート ー	4
------------------------------	---

<情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

(2) 持続可能な社会の実現にむけた I T の役割に関するシンポジウム

ー インフォテック 2025 ー	5
------------------------	---

(3) I T戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー..... 6

(4) 関西 C I Oカンファレンス..... 10

2. ビジネス・政策支援事業

(1) サイバーセキュリティ関連事業（関西サイバーセキュリティ・イニシアティブの確立） 11 |

(2) D X社会浸透プロジェクトの推進..... 14

(3) プライバシーマーク研修事業..... 16

(4) 地方シンクタンク協議会..... 17

(5) P M S構築・実践セミナー..... 20

(6) 「先端技術・ビジネス動向研究会」の設立・実施..... 20

(7) 未来創造サロン..... 21

(8) 「地域防災D X推進プラットフォーム」に向けた取り組み..... 22

3. 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託

- (1) 令和7年度総務省請負事業「地域のセキュリティコミュニティの強化に向けたインシデント演習等の運営の請負」および「地域のセキュリティコミュニティの強化に向けたCTFイベントの運営及び調査研究の請負」..... 26
- (2) 地区防災計画策定支援業務..... 28
- (3) 地区防災計画による津波等の災害に関する共助意識の向上のための調査・検討業務(内閣府) 28
- (4) 実践的な防災行動定着のための情報調査及び発信事務局運営業務(内閣府) 30

4. 情報化推進事業

- (1) 公共施設情報システムサービス..... 31
- (2) 情報セキュリティシステム構築支援事業（セキュアサポートサービス等）..... 32

5. 社会システム支援事業

<社会保健・福祉サービスソリューション>

- (1) 健康保険組合業務サポート事業（基幹システム及び周辺サービスの提供および運用保守） 32

6. 情報化社会基盤整備事業

- (1) プライバシーマークの審査、認定..... 33

7. 広報・交流活動事業

- (1) 社会に向けた情報発信の充実..... 34
- (2) 財団設立55周年を踏まえた広報活動の実施..... 34
- (3) 賛助会員の方々のニーズに合った情報提供、交流の場の提供..... 34

一. 概況

2025 年度は、新たに策定した「KIIS の目指す姿 2027」を踏まえ、新技術の進展や社会を取巻く環境変化が著しい中、「ハピネス・ドリブン・ソサエティ」の創出に向け、4 つの重点テーマ（①社会ニーズへの的確な対応 ②安全・安心な社会への貢献 ③新技術による新たな価値創出への貢献 ④財団運営基盤の強化）に取り組んだ。

1. 調査研究、普及・啓発事業

資料性の高いレポートとして広く公表し、地域全体の情報化の推進に貢献することを目的とした「e-Kansai レポート」では、「DX が導くハピネス・ドリブン・エコノミーの未来」について取りまとめた。また、「インフォテック 2025」では、2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）と会場内特設会場にて「輝けイノチ！～ハピネス・ドリブン・ソサエティの創出に向けて～」をテーマにシンポジウムを開催し、DX による新たな価値やマーケット創造に向けた機運の醸成を図った。さらに、「関西 CIO カンファレンス」では、「DX コアミドルが実現する新しい価値創造のかたち ～DX 推進の最前線に立つリーダーによる実践論～」をテーマに先進事例の紹介やパネルディスカッションによる意見交換の場を提供した。

2. ビジネス・政策支援事業

賛助会員との関係強化と当財団の価値向上を目指し、全国の有識者を招致し、最新の情報技術の知識を得て、ビジネスの展望を検討する「先端技術・ビジネス動向研究会」を賛助会員向け事業として 2025 年度新たに発足させ、年間 4 回の研究会を実施し、参加者向けに講演録とサマリーレポートを作成・配布した。

「サイバーセキュリティ研究会」では、賛助会員企業をはじめとする関西企業や自治体、組織等に対しサイバーセキュリティ関連の普及啓発、コミュニティ醸成、人材育成に向け各種活動を実施し、情報交換の場、ネットワーク作りの場としてサロンを開催した。

「DX 社会浸透プロジェクト」では関西のモノづくり関連中堅・中小企業等を中心に、DX・サイバーセキュリティの実装を強力に推進し、地域産業全体の活性化を進めた。

また、企業 BCP や地区防災に資する「関西防災減災推進プラットフォーム」の企画を進めると共に災害情報ポータルを試用を開始した。「スマートインフラセンサ利用研究会」ではインフラ構造物の維持管理に加えて、防災減災へのセンサ活用の推進を進めた。

その他、国・自治体等におけるプロジェクトを受託し事業を進めた。

3. 情報化推進事業

プライベート・クラウドで提供しているスポーツ施設と文化施設の予約・抽選機能を備えた公共施設情報システムサービス(OPAS/ESPAL)」を安定して提供し、自治体のデジタル化サポートを推進した。

4. 社会システム支援事業

健康保険組合業務サポート事業について、基幹システムやオプションシステムの提供と運用支援を行うと共に、健康管理ソリューションを含む様々な健保システムサービスについて安定した運用サポートを実施した。

5. 情報化社会基盤整備事業

個人情報保護の推進を目的とし、プライバシーマーク付与に係る審査、付与適格決定可否等の業務を継続して実施し、個人情報の保護など情報化社会の基盤整備に貢献するとともに、業務管理システムの更改を行い、業務の効率アップを図った。

二. 総務事項

1. 役員等の異動

当期における評議員の異動は、次のとおりである。

年月日	就任	退任
2025 年 4 月 28 日	森田 正典	
2025 年 6 月 25 日	藤井 剛	北山 泰三

当期における理事の異動は、次のとおりである。

年月日	就任	退任
2025 年 6 月 25 日	尾崎 裕	森下 俊三
2025 年 6 月 25 日		猪口 昭博
2025 年 6 月 25 日	笹倉 康伸	藤井 剛

当期における監事の異動は、次のとおりである。

年月日	就任	退任
2025 年 8 月 27 日	松下 義尚	富岡 洋光

2. 賛助会員

賛助会員は、入会 10 社、退会 12 社となり、2025 年度末会員数は、169 社となった。

3. 評議員会

2025 年 4 月 28 日 第 34 回臨時評議員会(決議の省略の方法による)

決議事項 ・ 評議員 1 名辞任につき 1 名選任の件

2025 年 6 月 25 日 第 35 回定時評議員会(Web 会議システム併用開催)

- 決議事項 ・ 2024 年(令和 6 年)度財務諸表等承認の件
 ・ 理事 2 名選任の件
 ・ 評議員 1 名選任の件
- 報告事項 ・ 2024 年(令和 6 年)度事業報告について
 ・ 2024 年(令和 6 年)度公益目的支出計画実施報告について
 ・ 2025 年(令和 7 年)度事業計画書について
 ・ 2025 年(令和 7 年)度収支予算書について

2025 年 8 月 27 日 第 36 回臨時評議員会(決議の省略の方法による)

- 決議事項 ・ 監事 1 名辞任につき 1 名選任の件

4. 理事会

2025 年 4 月 14 日 第 67 回臨時理事会(決議の省略の方法による)

- 決議事項 ・ 評議員会決議の省略についての決定
 ・ 評議員 1 名選任につき、その候補者決定の件

2025 年 6 月 9 日 第 68 回通常理事会(Web 会議システム併用開催)

- 決議事項 ・ 2024 年(令和 6 年)度事業報告承認の件
 ・ 2024 年(令和 6 年)度財務諸表等承認の件
 ・ 2024 年(令和 6 年)度公益目的支出計画実施報告書承認の件
 ・ 理事 2 名選任につき、その候補者の決定の件
 ・ 評議員 1 名選任につき、その候補者の決定の件
 ・ 定時評議員会招集決定の件

- 報告事項 ・ 職務執行状況報告について

2025 年 6 月 25 日 第 69 回臨時理事会(Web 会議システム併用開催)

- 決議事項 ・ 会長(代表理事)選定の件
 ・ 顧問 1 名推薦の件

2025 年 7 月 23 日 第 70 回臨時理事会(決議の省略の方法による)

- 決議事項 ・ 評議員会決議の省略についての決定

- ・監事 1 名選任につき、その候補者決定の件

2025 年 12 月 15 日 第 71 回通常理事会 (Web 会議システム併用開催)

- 報告事項
- ・職務執行状況報告について
 - ・関西防災減災推進プラットフォームの
防災情報ポータルのご紹介

2026 年 3 月 30 日 第 72 回通常理事会 (Web 会議システム併用開催)

- 決議事項
- ・2026 年 (令和 8 年) 度事業計画の件
 - ・2026 年 (令和 8 年) 度予算の件
 - ・役員賠償責任保険更新の件
- 報告事項
- ・職務執行状況報告について

5. 政策委員会

2025 年 12 月 1 日 第 95 回委員会 (Web 会議システム併用開催)

- 講話
- ・「製造業が支える日本経済の構造転換と関西経済の今後について」

経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部長

黒田 俊久 氏

議事

- ・KIIS 中期事業運営計画 2027 の 2 年目に向けて
- ・インフォテックの今後のあり方について
- ・関西防災減災推進プラットフォームの災害情報ポータルのご紹介

2026 年 3 月 11 日 第 96 回委員会 (Web 会議システム併用開催)

- 議事
- ・「2026 年度 KIIS 事業運営計画」について

6. 職員

2025 年度末においては 40 名である。(役員・派遣職員除く)

三. 事業

1. 調査研究、普及・啓発事業

<情報化及び産業の活性化に関する調査研究事業>

(1) AI・IoT 活用によるビジネス・イノベーションに関する調査

－ e-Kansai レポート －

DX (デジタル・トランスフォーメーション) の進展とその先の経済社会を展望するため、「DX コアミドルが実現する新しい価値創造のかたち」をテーマとし、調査研究を進めた。企業従事者を対象とする Web アンケート調査 (500 サンプル)、及び企業の取組につ

いて深掘りするヒアリング調査を順次実施し、以下の日程で有識者による委員会を開催した。これらの取組により、DX 推進組織モデル、新たなデジタル技術（生成 AI 等）活用体制に関する望ましいあり方等について検討し、報告書を作成した。

① 第 1 回 e-Kansai レポート委員会

概 要：前年度調査概要報告ならびに今年度調査企画案について
全体討議を実施した。

日 時：2026 年 2 月 20 日(金) 15:00～17:00

実施方法：オンライン

議 事：1. 「e-Kansai レポート 2025」調査結果概要
2. 「e-Kansai レポート 2026」調査企画案
3. 全体討議
4. その他

②第 2 回 e-Kansai レポート委員会

概 要：主に今年度アンケート調査結果（速報）について事務局より説明後、全体
討議を実施した。

日 時：2026 年 3 月 27 日(金) 10:00～12:00

実施方法：オンライン

議 事：○アンケート調査結果、ヒアリング調査結果、報告書骨子案検討
○全体討議
○その他

<情報化及び産業の活性化に関する普及・啓発事業>

(2)持続可能な社会の実現にむけた I T の役割に関するシンポジウム

ー インフォテック 2025 ー

9 月 4 日にインフォテック 2025 を大阪・関西万博会場内にて開催した。開催概要は次の
とおり。

■開催日時 2025 年 9 月 4 日(木) 12:00～17:50

①講演：13:00～17:30 ②展示：12:00～17:50

■開催方法 ハイブリッド開催(①会場：EXP02025 大阪・関西万博会場内フェスティ
バル・ステーション、②オンライン：YouTube Live 配信)

・参加登録者数 195 名(うち招待者 62 名)

・来場者 約 3,000 名 ・オンライン視聴 のべ 165 名

■テーマ 「輝けイノチ！～ハピネス・ドリブン・ソサエティの創出に向けて～」

■講演プログラム

主催者挨拶：一般財団法人関西情報センター会長

尾崎 裕

来賓挨拶：経済産業省 近畿経済産業局長

信谷 和重 氏

講演 1:「ニューロテクノロジーが拓く未来～脳科学が紐解くイノチのハピネス～」
株式会社 NTT データ経営研究所 ニューロコグニティブイノベーションユニット
ディレクター／VIE 株式会社 執行役員 最高脳科学責任者 (CNTO)

茨木 拓也 氏

講演 2:「人間拡張：AI と人間が融合する未来」

東京大学大学院情報学環 教授／ソニーCSL 京都リサーチ
リサーチディレクター

暦本 純一 氏

講演 3:「AI を駆使してリアリティに迫る～新しい科学が拓く地平～」

慶應義塾大学 医学部 石井・石橋記念講座(拡張知能医学) 教授

桜田 一洋 氏

講演 4:「ウェアラブルセンシングとフィードバックが変える医療・健康・生活」

神戸大学大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授

寺田 努 氏

オープンディスカッション：

テーマ「輝けイノチ！～ハピネス・ドリブン・ソサエティの創出に向けて～」

【ファシリテータ】

大阪大学大学院情報科学研究科 研究科長・教授

原 隆浩 氏

【パネリスト】

・株式会社 NTT データ経営研究所

ニューロコグニティブイノベーションユニット ディレクター

茨木 拓也 氏

・東京大学大学院情報学環 教授

暦本 純一 氏

・慶應義塾大学 医学部 石井・石橋記念講座(拡張知能医学) 教授

桜田 一洋 氏

・神戸大学大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授

寺田 努 氏

■展示

・関西学院大学：「視力回復を目的とした VR ゲーム」

関西学院大学 工学部 知能・機械工学課程 教授

井村 誠孝 氏

理工学研究科 博士後期課程

河盛 真大 氏

・神戸大学①：「ウェアラブルセンシングと情報提示技術」

神戸大学 大学院工学研究科 塚本・寺田研究室 助教

大西 鮎美 氏

・神戸大学②：「ウェアラブルカメラに必要な外付けプライバシー保護機構」

神戸大学 大学院工学研究科 塚本・寺田研究室 修士1年学生

中原 滉希 氏

・一般財団法人関西情報センター：「財団紹介(KIIS の歴史)」

また、実施報告概要版を、KIIS VISION vol.2 に掲載した。

(3) IT戦略の再構築とビジネス・イノベーションに関するセミナー

(a) 生成 AI 導入実践ワークショップ

今年度は「生成 AI 導入実践ワークショップ」3 部作として、新規事業創出編・広報活用編・安全活用編の 3 部構成として、異なるアプローチから生成 AI の活用とリスクの理解

をテーマに実習を行った。

①新規事業創出編

日時：2025年7月10日・7月17日・8月7日 各15:00～17:00(全3回)

講師：株式会社01START 代表取締役社長 芝先恵介 氏

株式会社01START 村中督史 氏

参加者数：11名

②広報活用編

日時：2025年9月19日 14:30～17:00

講師：株式会社BESW 代表取締役社長 田中千晶 氏

参加者数：15名

③安全活用編

日時：2025年10月31日 13:30～16:00

講師：きたはまアール法律事務所 小坂谷聡 氏、小坂谷麻子 氏

増田力法律事務所 増田力 氏

参加者数：12名

(b)サイバーセキュリティ・リレー講座

関西を代表するセキュリティ研究者を中心に、8名の有識者によるオムニバス形式のオンライン講義を実施した。全国から700名超の参加申込を得た。

主催：一般財団法人関西情報センター

協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

関西DX実装イニシアティブ

プログラム・講師：

＜第1回＞8/20(水)16:30～18:00「セキュリティ対策において経営者が果たすべき役割」

立命館大学 情報理工学部 教授

上原 哲太郎 氏

＜第2回＞8/22(金)16:30～18:00「可用性の高いインフラストラクチャ

～連続性と合意形成～」

近畿大学 情報学部 准教授

柏崎 礼生 氏

＜第3回＞8/29(金)16:30～18:00「サイバー攻撃の最新動向とサイバーセキュリティ産学官連携」

国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所

所長 井上 大介 氏

＜第4回＞9/5(金)16:30～18:00「AIが加速するOTサイバーセキュリティ」

東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授

江崎 浩 氏

＜第5回＞9/12(金)16:30～18:00「トンネリングと無線LANセキュリティ」

大阪大学 D3 センター 教授

猪俣 敦夫 氏

＜第6回＞9/18(木)16:30～18:00「Identity Managementの動向」

京都産業大学 情報理工学部 情報理工学科 教授 秋山 豊和 氏
＜第7回＞9/22(月)16:30～18:00「経営者・担当者が抑えておくべき
法的側面からのサイバーセキュリティ」

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 弁護士/パートナー 北條 孝佳 氏
＜第8回＞9/29(月)16:30～18:00「QR コードとは何か、何ができるのか、そしてその脆弱
性とは！？-最近の特殊詐欺と QR コードの関係も含めて-」

神戸大学 名誉教授 森井 昌克 氏
視聴申込者：710 名

(c)サイバーセキュリティ・トップセミナー

2025 年 5 月 16 日には「能動的サイバー防御」関連法案が成立し、国・企業双方に新たな対応が求められている。そこで本セミナーでは、経済安全保障の観点からサイバーセキュリティの重要性を再確認するとともに、能動的サイバー防御の概要や今後の影響について、専門家による講演およびトークセッションを通じて解説することとした。

日時：2025 年 10 月 14 日(火) 13:00～15:30

会場：産総研・関経連うめきたサイト

開催体制：

主催：一般財団法人関西情報センター、公益社団法人関西経済連合会

後援：独立行政法人情報処理推進機構、組込みシステム産業振興機構

協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

プログラム：

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:35 【講演①】

「安全保障の観点から考えるサイバーセキュリティ」

PwC コンサルティング合同会社 パートナー/執行役員

丸山 満彦 氏

13:35～14:25 【講演②】

「能動的サイバー防御とアクティブサイバーディフェンス」

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT) 主席研究員

伊東 寛 氏

14:25～14:35 休憩

14:35～15:30 【トークセッション】

＜モデレーター＞ 神戸大学 名誉教授

森井 昌克 氏

＜パネリスト＞

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT) 主席研究員

伊東 寛 氏

PwC コンサルティング合同会社 パートナー/執行役員

丸山 満彦 氏

参加申込者：42 名

(d)DX 推進指標・DX 認定セミナー ～基礎編／実践編／アプリ活用編～

特定非営利活動法人 ITC 近畿会の協力を得、中小企業の DX 推進取り組みの現在地を把握するための「DX 推進指標」と、DX 先進企業であることを示す「DX 認定」取得に向けた考え方について詳細に情報提供を行った。

日 時：2025 年 11 月 11 日（火）、11 月 18 日（火）、11 月 21 日（金）

いずれも 15:00～17:00

開催場所：一般財団法人関西情報センター会議室（大阪市中央区城見 1 丁目 3 番 7 号 松下 IMP ビル 5 階） 及び オンライン配信

主 催：一般財団法人関西情報センター

協 力：特定非営利活動法人 ITC 近畿会

当日プログラム：

○11/11(火) 15:00～17:00 基礎編

DX 認定基礎セミナー | DX 推進指標の基礎から DX 認定の申請までを紹介します！

講師：(特非)ITC 近畿会 理事長 垣見 多容 氏

参加者数： 17 名

○11/18(火) 15:00～17:00 実践編

DX 認定実践セミナー | DX 推進指標の自己診断と成熟度について詳細に解説！

講師：(特非)ITC 近畿会 理事長 垣見 多容 氏

参加者数： 14 名

○11/21(金) 15:00～17:00 アプリ 活用編

kintone アプリを使った DX と IT 経営の推進セミナー

使ってみませんか？kintone「DX 推進と IT 経営アプリ・パック」の使い方と効果

講師：(株)BA&C 代表取締役 伊藤 拓治 氏

参加者数： 9 名

(e)セキュリティ・キャンプ 2026 ミニ（大阪開催）【公開講座】

日 時：2026 年 3 月 13 日（金）14:00～17:00

開催場所：松下 IMP ビル 2 階 C 会議室（大阪市中央区城見 1 丁目 3 番 7 号 松下 IMP ビル 2 階）

主 催：一般財団法人関西情報センター、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会

共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター）

後 援：独立行政法人情報処理推進機構、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課、組込みシステム産業振興機構

当日プログラム：

講演 1「セキュリティ・キャンプの紹介」（一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 地域連携グループ）

トークバトル：様々な課題に喝！サイバーセキュリティお悩み相談室

上野 宣 氏（株式会社トライコーダ）、竹迫 良範 氏（神山まると高専）、松本悦宜 氏（株式会社 Aufense Technologies）、佳山 こうせつ 氏（Ridgelinez 株式会社）、

進行：石橋 裕基（一般財団法人関西情報センター）

講演 2 「セキュリティ業界の俯瞰マップとキャリア選択～社会への貢献実感と計画的偶発性理論～」佳山 こうせつ 氏（Ridgelinez 株式会社）

参加者数： 26 名

(f)セキュリティ・キャンプ 2026 ミニ（大阪開催）【専門講座】

日 時：2025 年 3 月 14 日（土）9:00～17:00

開催場所：KIIS 第 1 会議室

主 催：一般財団法人関西情報センター、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、独立行政法人情報処理推進機構

共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター）

後 援：公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府警察本部警務部高度情報推進局サイバーセキュリティ対策課、組込みシステム産業振興機構

当日プログラム：

『オープニング』『セキュリティ・キャンプ紹介』

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会 ステアリングコミッティ

『サイバー犯罪事例から考える倫理観』

大西 勇紀 氏 大阪府警察本部 サイバーセキュリティ対策課

『ビルドシステムを自作しよう』

浅田 陸葉 氏 筑波大学

『Attack & Defense 形式の CTF でリアルタイムの攻防戦を体験してみよう』

山崎 啓太郎 氏 GMO サイバーセキュリティ by イエラエ

『クロージング』 アンケート記入等

参加者数： 20 名

(4)関西 C I Oカンファレンス

3 月 24 日にオンラインにて関西 C I Oカンファレンスを開催した。

開催概要は次のとおり。

テーマ：「DX コアミドルが実現する新しい価値創造のかたち
～DX 推進の最前線に立つリーダーによる実践論～」

日 時：2026 年 3 月 24 日（火）14:00～16:30

中継会場：一般財団法人関西情報センター会議室

実施方法：Zoom ウェビナーを使ったオンライン配信

■講演：

「攻めの DX と守りの DX ：企業成長のためのデジタル投資」

筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授

立本 博文 氏

■パネルディスカッション

テーマ：「DX コアミドルが実現する新しい価値創造のかたち

～DX 推進の最前線に立つリーダーによる実践論～」

<コーディネーター>

神戸大学大学院 経営学研究科 教授

原田 勉 氏

<パネリスト>

- ・筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授 立本 博文 氏
- ・IX ホールディングス（株）執行役員グループ CIO デジタル事業本部長 神山 大輔氏
- ・ダイハツ工業（株）DX 推進室デジタル変革グループ長（兼）DX 戦略担当 太古 無限氏
- ・日本瓦斯（株）執行役員 営業本部 情報通信技術部長 岩田 靖彦 氏

参加登録者 67 名

2. ビジネス・政策支援事業

(1)サイバーセキュリティ関連事業（関西サイバーセキュリティ・イニシアティブの確立）

行政機関や関係機関との連携のもと、サイバーセキュリティ関連での普及啓発、コミュニティ醸成、人材育成に向けた各活動を推進している。期間内には次のとおり事業を実施した。

(a)セキュリティ最新情報解説サロン

専門家からの最新情報提供を踏まえ、会員企業の担当者同士が顔を合わせ、ざっくばらんに議論・意見交換できる場としてサロン活動を次のとおり実施した。

・通算第 31 回サロン

日時：2025 年 5 月 16 日（金）17:00～19:00

会場：一般財団法人関西情報センター 第 1 会議室

テーマ：ウクライナの重要インフラ事業者から学ぶ有事の教訓

ゲスト：日本電信電話株式会社 技術企画部門 セキュリティ・アンド・トラスト室
チーフ・サイバーセキュリティ・ストラテジスト

松原 実穂子 氏

・通算第 32 回サロン

日時：2025 年 7 月 24 日（木）17:00～19:00

会場：ナレッジサロン内プロジェクトルーム

テーマ：IoT 製品セキュリティラベリング制度（JC-STAR）が始まって

～JC-STAR が目指していること～

ゲスト：独立行政法人情報処理推進機構

セキュリティセンター 技術評価部 部長

神田 雅透 氏

・通算第 33 回サロン

日時：2026 年 2 月 20 日(金) 17:30～19:30

会場：一般財団法人関西情報センター 会議室

テーマ：ランサムウェア犯行グループの現況

ゲスト：株式会社 NTT データグループ

情報セキュリティ推進室 NTT-DATA 担当エグゼクティブセキュリティ
アナリスト

新井 悠 氏

・通算第 34 回サロン

日時：2026 年 3 月 3 日(火) 17:00～19:00

会場：一般財団法人関西情報センター 会議室

テーマ：楽天フィンテック事業におけるサイバーセキュリティ対策の
取り組みと業界における最新動向

ゲスト：楽天グループ株式会社

Fintech グループカンパニーCISO アドバイザー

橘 喜胤 氏

(b)セキュリティ人材育成プログラム

企業等におけるセキュリティ人材の育成を目的に、必要な技術や制度等を網羅的に学ぶ研修コース「セキュリティ人材育成プログラム」を 2025 年 10 月～2026 年 1 月に開催した。受講者の職務範囲に応じて、「セキュリティ担当人材コース」「マネジメント人材コース」の 2 コースを設け、ハイブリッド形式（オンサイト（KIIS 会場）＋オンライン（Webex））で講義を実施した。企業や大学の第一線で活躍するセキュリティ専門家計 16 名を講師として招致し、全 14 回のディスカッションや実機演習など、講義トピックに合わせた多様なプログラムを提供した。各回講義後の簡易的な理解度チェックや講義動画の公開など、受講者の学習支援も積極的に行い、コース終了後は、回数等基準を満たした受講者に対し、受講修了証を発行した。

a. セキュリティ担当人材コース（受講者数：12 名 修了者：9 名）

No	日時	講座名	講師(所属)
a-01	2025/10/21(火) 14:00～17:00	サイバーセキュリティ最新 動向解説	森井 昌克 氏(神戸大学)
a-02	2025/10/27(月) 14:00～17:00	情報セキュリティの基本と リスクマネジメント	富田 一成 氏(株式会社ラック)
a-03	2025/11/6(木) 14:00～17:00	情報セキュリティの基本と リスクマネジメント【演 習】	長谷川 長一 氏(株式会社ラック)
a-04	2025/11/14(金) 14:00～17:00	各国のデジタル法規制の動 向と企業が講じるべき対策	エレドン ビリゲ 氏・高澤 真 理 氏・大西 功輝 氏(PwC コン サルティング合同会社)

a-05	2025/11/20(木) 14:00～17:00	Web アプリケーション脆弱 性診断ハンズオン	深井 亨 氏(株式会社神戸デジ タル・ラボ)
a-06	2025/11/25(火) 14:30～17:30	DFIR(デジタルフォレンジッ クとインシデントレスポ ンス)の入門と体験	奥田 直哉 氏(株式会社神戸デ ジタル・ラボ)
a-07	2025/12/2(火) 9:30～12:30	暗号と認証	白石 善明 氏(神戸大学大学 院)
a-08	2025/12/18(木) 14:00～17:00	ネットワーク運用基礎	曾根 直人 氏(鳴門教育大学)
a-09	2026/1/22(木) 14:00～17:00	AI・生成 AI のセキュリティ リスクと対策の概観	荒木 俊則 氏(NEC セキュアシ ステムプラットフォーム研究 所)
a-10	2026/1/29(木) 14:00～17:00	製品セキュリティと PSIRT 構築・運用	林 彦博 氏・伊藤 公祐 氏 (GMO サイバーセキュリティ by イエラエ)

b. マネジメント人材コース (受講者数：10 名 修了者：6 名)

No	日時	講座名	講師(所属)
b-01	2025/10/21(火) 14:00～17:00	サイバーセキュリティ最新 動向解説	森井 昌克 氏(神戸大学)
b-02	2025/10/27(月) 14:00～17:00	情報セキュリティの基本と リスクマネジメント	富田 一成 氏(株式会社ラッ ク)
b-03	2025/11/6(木) 14:00～17:00	情報セキュリティの基本と リスクマネジメント【演 習】	長谷川 長一 氏(株式会社ラッ ク)
b-04	2025/11/14(金) 14:00～17:00	各国のデジタル法規制の動 向と企業が講じるべき対策	エレドン ビリゲ 氏・高澤 真 理 氏・大西 功輝 氏(PwC コン サルティング合同会社)
b-05	2025/11/19(水) 14:00～17:00	リスク分析からの対策立案 計画	近藤 伸明 氏(株式会社神戸デ ジタル・ラボ)
b-06	2025/11/28(金) 14:00～17:00	情報セキュリティの運用と 組織	嶋倉 文裕 氏(情報処理安全確 保支援士 実践講習講師)
b-07	2025/12/4(水) 14:00～17:00	動ける CSIRT へ	藤堂 伸勝 氏((一般社団法人 JPCERT コーディネーション センター 早期警戒グルー プ))
b-08	2025/12/8(月) 14:00～17:00	IT-BCP 策定と演習の企画立 案【演習】	長谷川 長一 氏(株式会社ラッ ク)
b-09	2026/1/22(木) 14:00～17:00	AI・生成 AI のセキュリティ リスクと対策の概観	荒木 俊則 氏(NEC セキュアシ ステムプラットフォーム研究 所)

b-10	2026/1/29(木) 14:00～17:00	製品セキュリティと PSIRT 構築・運用	林 彦博 氏・伊藤 公祐 氏 (GMO サイバーセキュリティ by イエラエ)
------	-----------------------------	--------------------------	---

(2) DX社会浸透プロジェクトの推進

地域企業の DX・サイバーセキュリティの実装を実現させるため、各種支援活動(普及啓発、ビジネスマッチング、伴走型支援等)を実施した。

①DX・セキュリティ出前講座

企業グループや組合・業界団体、公的機関、自治体等からの要請に応じ、それぞれのグループにおいて DX やセキュリティ関連の勉強・講習等を行いたい場合に、テーマに合った専門家を講師として派遣する事業を実施した。2025 年度は下記 15 件の派遣要請に対応した。

■主催：ミサワホームグループ

講演タイトル：サイバー脅威の動向とインシデント対応のあり方

開催日時：2025 年 5 月 19 日(月) 15:00～15:55

派遣講師：株式会社ラック 新規事業開発部 主席研究員

長谷川長一 氏

■主催：ライフマイスター株式会社

講演タイトル：最新動向を踏まえた情報セキュリティ対策

開催日時：2025 年 7 月 24 日(木)13:15～14:15

派遣講師：株式会社ラック 新規事業開発部 主席研究員

長谷川長一 氏

■主催：大阪市消費者センター

講演タイトル：ネットの海を安全航海！親子で守る「情報モラル」の大冒険

開催日時：2025 年 7 月 28 日(月)14:00～15:30

派遣講師：子供とネットを考える会

山口あゆみ 氏

■主催：熊取町立西小学校

講演タイトル：子供たちを取り巻くネット環境とその対応・対策

開催日時：2025 年 8 月 26 日(火)13:30～15:00

派遣講師：子供とネットを考える会

山口あゆみ 氏

■主催：神戸商工会議所

講演タイトル：弱い企業から順に狙われるサイバー攻撃の脅威

開催日時：2025 年 9 月 16 日(火)14:30～16:00

派遣講師：立命館大学 情報理工学部 教授

上原哲太郎 氏

■主催：協同組合関西ファッション連合

講演タイトル：-知らなかったではすまされない！-

今日から始める情報セキュリティ対策

開催日時：2025 年 10 月 22 日(水)14:00～16:00

派遣講師：株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役

野村 陽子 氏

■主催：奈良県消防学校

講演タイトル：-知らなかったではすみされない！-

社会人としての情報セキュリティ対策の基本

開催日時：2025 年 10 月 24 日(金)10:35～11:25

派遣講師：株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 野村 陽子 氏

■主催：三木商工会議所・兵庫県サイバー犯罪対策ネットワーク

講演タイトル：本当に可能なサイバー攻撃対策とは？

-誰でも被害に遭う、その気づかない被害と悲惨な顛末-

開催日時：2025 年 11 月 13 日(木)14:00～16:00

派遣講師：神戸大学 名誉教授

森井 昌克 氏

■主催：愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会

講演タイトル：訴訟フォレンジックによる内部不正対策

開催日時：2025 年 11 月 26 日(水)14:00～15:00

派遣講師：アイフォレンセ日本データ復旧研究所株式会社 代表取締役

下垣内 太 氏

■主催：兵庫県宅地建物取引業協会

講演タイトル：DX 推進！サービス産業

開催日時：2025 年 12 月 11 日(木)14:15～15:15

派遣講師：DXpower 代表

辻野 一郎 氏

■主催：芦屋納税協会

講演タイトル：デジタル化から DX への進化と深化

-自社の変革を進めるために必要なものは-

開催日時：2025 年 12 月 11 日(木)14:15～15:15

派遣講師：特定非営利活動法人 ITC 近畿会 理事長

垣見 多容 氏

■主催：(株)ケー・エス・ディー

講演タイトル：セキュリティの足固めに必要なタイミングとは

～昨今のランサムウェア事案を事例に～

開催日時：2026 年 2 月 4 日(水)13:30～14:30

派遣講師：大阪大学 D3 センター教授

猪俣 敦夫 氏

■主催：(一財) 京都工場保健会

講演タイトル：最近のサイバー攻撃とその対策事情

～アサヒ GDH、アスクルの被害と経産省のセキュリティ対策評価制度～

～なぜランサムウェアでさえ被害が続くのか、その理由は～

開催日時：2026 年 2 月 10 日(火)14:00～15:05

派遣講師：神戸大学 名誉教授

森井 昌克 氏

■主催：大阪府行政書士会

講演タイトル：DX の必要性と効果及びデジタル化による生産性向上

開催日時：2026 年 2 月 27 日(金)16:30～18:00

派遣講師：DXpower 代表

辻野 一郎 氏

■主催：関西地区太平洋セメント生コン会

講演タイトル：変革を先導する DX リーダーになる！育てる！

建設分野での活用事例と推進のヒント（仮題）」

開催日時：2026 年 3 月 19 日（木）15:40～16:35

派遣講師：DXpower 代表

辻野 一郎 氏

②with ビジネス創出セミナー（KIIS 賛助会員企業によるオンライン講演）

■発表企業：株式会社 iTest

テーマ：文書管理システムについて～Secure 文探のご紹介～

公開日時：2025 年 4 月 14 日（月）～

③DX・セキュリティアドバイザー派遣事業

自社の DX やサイバーセキュリティ対策を推進したい企業からの要望を受け付け、それぞれの相談内容に即した専門家を派遣し、伴走型で各社の取り組みをハンズオン支援するもの。2025 年度は 14 社に対し専門家を派遣し、支援を実施した。

	所在地	業種	先方からの要望
A 社	滋賀県	製造業	生成 AI 活用について
B 社	大阪府	ソフトウェア	生成 AI 活用について
C 社	大阪府	人材事業	生成 AI 活用について
D 社	兵庫県	製造業	システム導入について
E 社	大阪府	通信販売小売業	DX 認定取得について
F 社	大阪府	卸売業	生成 AI 活用について
G 社	大阪府	一般貨物運送事業	生成 AI 活用について
H 社	大阪府	製造業	生成 AI 活用について
I 社	大阪府	サービス業	生成 A I 活用について
J 社	兵庫県	社会福祉事業	サイバーセキュリティ対策
K 社	大阪府	広告制作業	生成 A I 活用について
L 社	大阪府	広告業	生成 A I 活用について
M 社	大阪府	民間図書館	生成 A I 活用について
N 社	大阪府	情報通信業	生成 A I 活用について

(3) プライバシーマーク研修事業

個人情報保護の普及・啓発と質の高い審査員養成を目指し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）のプライバシーマーク指定研修機関として認定を受け、プライバシーマーク審査員研修（審査員補養成研修およびフォローアップ研修）を実施している。

2025年度は、審査員補養成研修を5月4日～5月8日(5日間)にKIIS会議室にて集合形式で開催(7名受講)し、フォローアップ研修(年5回)を、6月19日、8月8日、9月25日、10月28日、11月20日に全てオンラインにて実施し合計112名が受講した。

また下記委員会にて令和7年度事業実施報告と令和8年度事業計画案を説明し、委員ならびに研修講師から今後の進め方等について、ご意見やアドバイスをいただいた。

■2025年度研修運営委員会

日 時：2025年12月13日(月) 15:00～16:00

場 所：KIIS 第一会議室

出席者：・委員長 上野 敏幸 (一般財団法人関西情報センター 専務理事)
・委員 松田 貴典氏 (大阪成蹊大学 名誉教授)
・委員 竹中 篤 (一般財団法人関西情報センター 常務理事)
・委員 今井 伸輔 (一般財団法人関西情報センター 事務局長)
・研修事務局メンバー 4名

議 事：1.令和7年度プライバシーマーク審査員研修事業実施報告
2.令和8年度プライバシーマーク審査員研修事業計画案
3.KIIS プライバシーマーク審査員研修マネジメントシステム(KKMS)改訂

■第3回研修改善委員会

日 時：2026年2月13日(月) 15:00～16:30

場 所：KIIS 第一会議室

出席者：・審査員補養成研修 講師 6名
・担当理事 竹中 篤 (KIIS 常務理事)
・研修事務局メンバー 3名

議 事：1.令和7年度プライバシーマーク審査員研修事業実施報告
2.令和8年度プライバシーマーク審査員研修事業計画案

(4)地方シンクタンク協議会

全国のシンクタンク(44機関)で組織する地方シンクタンク協議会の運営に関し、引き続き事務局として業務を受託。総会、地方シンクタンクフォーラム、経営者会議等、各種交流活動を円滑に進行するとともに、地域からの情報発信や地域間交流の促進を実施。

① 令和7年度総会

2025年7月3日、東京(東京国際フォーラム)にて総会を開催し、全ての審議事項について、審議の結果、原案どおり異議なく承認された。総会后、「これからの地域創生のあり方～原点の振り返りから～」と題し、愛知東邦大学経営学部ビジネス学科教授

NPO 法人市民活動情報センター代表理事 今瀬 政司 氏より講演をいただいた。

② 論文アワード 2025

募集テーマ「地域力の向上を目指して」を設定し、会員より論文応募を募り、計 17 論文の応募を得た。厳正なる選考の結果、下記のとおり受賞論文が決定した。(表彰式は地方シンクタンクフォーラムにて実施)

《総務大臣賞》

「“機能する BCP” を構築するには

～能登半島地震、奥能登豪雨の教訓を踏まえて～」

一般財団法人北陸経済研究所 調査研究部 主任研究員

米屋 信弘 氏

《優秀賞》

「人口減少・超高齢社会におけるまちづくりに関する研究

～名古屋市の交通環境に着目して～」

公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

調査課・研究主査 前田 翼 氏

《優秀賞》

「法定外税による地域力向上へのアプローチ

～長期視点に基づく好循環サイクルの構築と広域連携の活用～」

株式会社三十三総研 調査部長 主席研究員

別府 孝文 氏

《特別賞》

「男女間賃金格差にみる現状と課題」

一般財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部 主任研究員

吉田 聡子 氏

《特別賞》

「中国地域からの女性流出の現状と状況改善に向けた対応方策の検討について」

公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部 研究員 河野 彰徳 氏

③ 第 38 回地方シンクタンクフォーラム

2025 年 11 月 27 日、金沢市（金沢商工会議所）にて地方シンクタンクフォーラムを、次のとおり開催した。

テーマ：「これからの地域創生のあり方～震災からの復興とまちづくり～」

日 時：2025 年 11 月 27 日（木）13:00～16:00

会 場：金沢商工会議所 会議室 A+B

参加費：無料

主 催：地方シンクタンク協議会

後 援：公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構

プログラム

・開会挨拶

地方シンクタンク協議会 代表幹事

金井 萬造氏

・国からの情報提供

「地方創生の取り組みについて」

内閣府 地方創生推進事務局 参事官 柳瀬 孝幸 氏

・基調講演

「能登半島地震の被災・復興と、能登の関係人口創出」

金沢大学 能登里山里海未来創造センター センター長 谷内江 昭宏 氏

・講演

「能登・和倉温泉の復興をまちづくりとともに考える」

和倉温泉観光協会 会長 奥田 一博 氏

・論文アワード2025 表彰式

・パネルディスカッション

「これからの地方創生のあり方～復興の観点から～」

モデレーター：公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構 理事・研究調査部長

神田 玲子 氏

パネリスト：金沢大学能登里山里海未来創造センター センター長 谷内江昭宏 氏

和倉温泉観光協会 会長 奥田 一博 氏

一般財団法人北陸経済研究所 調査研究部 主任研究員 米屋 信弘 氏

参加者数：40 名

④ 第23回経営者会議

開催日時：2026年3月12日(木) 14:00～17:00

開催場所：アクロス福岡（福岡市中央区）

テーマ：これからの地域創生のあり方

内容：参加者によるグループ討議

情報提供

講演：「これからの地域創生のあり方 変化への対応と変化の創造」

中央大学 経済学部 教授 山崎 朗 氏

参加者数：13 名

⑤ 機関誌「地域研究交流」発刊

発刊日：2026年3月31日(火)

配布先：地方シンクタンク協議会会員、自治体他

テーマ：「これからの地域創生」

○巻頭言：「地方シンクタンクフォーラムを開催して

～震災からの復興とまちづくりを考える～」

地方シンクタンク協議会 北陸ブロック幹事 河原 嘉人氏

(北陸経済研究所 常務理事)

○特集：

「現代の農村における地域活性化を生み出す共生関係」

広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授 細野 賢治 氏
「豊岡演劇祭／まちづくりの観点から——深さをもった地域創生に向けて」
芸術文化観光専門職大学 芸術文化・観光学部 准教授 尾西 教彰 氏

○令和7年度活動より

- ・論文アワード2025 入選論文
- ・第38回地方シンクタンクフォーラム 講演録

○編集後記

機関誌「地域研究交流」編集委員長 森岡 隆司
(公益財団法人中国地域創造研究センター)

(5) PMS構築・実践セミナー

PMS(個人情報保護マネジメントシステム)をこれから構築しようとする事業者を対象に、構築の重要性、具体的な構築方法に関するセミナーを通じて、サイバーセキュリティ対策及び個人情報保護に対する体制構築の推進を図るため4月に開催した。

【基礎編】

日 時：2025年4月17日(木) 14:00～16:00

開催方法：オンライン

講 師：株式会社 hathor 経営改革支援部(KIIS プライバシーマーク研修主任講師)
小川 敏治 氏

受 講 者：15 名

【実践編】

日 時：2025年4月23日(水) 14:00～16:00 及び 4月24日(木) 14:00～16:00

開催方法：オンライン

講 師：株式会社 hathor 経営改革支援部(KIIS プライバシーマーク研修主任講師)
小川 敏治 氏

受 講 者：5 名(うちアーカイブ配信受講 1 名)

(6)「先端技術・ビジネス動向研究会」の設立・実施

賛助会員との関係強化と当財団の価値向上を目指し、全国の有識者を招致し、最新の情報技術の知識を得ビジネスの展望を検討する「先端技術・ビジネス動向研究会」を賛助会員向け事業として2025年度新たに発足させ、年間4回の研究会を実施した。

【開催実績】

[第1回]

日時：2025年8月25日(月)14:00～16:00

会場：大阪ステーションホテル オートグラフコレクション

講師：独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 理事長 齊藤 裕 氏

テーマ：「日本型デジタルエコシステムで拓く未来 ～新たな事業環境での勝ち筋を探る～」

参加者数：16名

[第2回]

日時：2025年10月6日(月)15:00～17:00

会場：イノゲート大阪

講師：政策研究大学院大学 教授

安田 洋祐 氏

テーマ：「経済学のビジネス応用～戦略思考でみるデジタル経済～」

参加者数：15名

[第3回]

日時：2025年12月15日(月)15:00～17:00

会場：イノゲート大阪

講師：株式会社NTTデータグループ グローバルイノベーション本部

Head of Global AI Office

本橋 賢二 氏

テーマ：「AIと共に進化する企業 ― NTTデータの生成AI活用最前線」

参加者数：23名

[第4回]

日時：2026年2月9日(月)15:00～17:00

会場：イノゲート大阪

講師：早稲田大学 大学院経営管理研究科

(早稲田大学ビジネススクール)

教授 斉藤 賢爾 氏

テーマ：「AI 前提社会におけるトラスト」

参加者数：13名

各回開催後は講演録と簡易サマリーレポートを作成し参加者限定で配布した。また、年度末には年間の活動報告書を作成し、賛助会員に配布した。

(7)未来創造サロン

未来創造サロンは、「ハピネス・ドリブン・エコノミー」をテーマに据え、有識者の方々からの情報提供や参加者どうしでのディスカッションを行う意見交換の場である。今後のビジネスがこれまでのように物質的・数量的な価値の最大化でなく、人間の幸せや幸福感を最大化するためのビジネスが拡大していくという仮定の下、参加者間の議論を通して将来の社会を考えるきっかけを提供している。今年度は以下のとおり2回の会合を実施した。

<第1回>

■開催日時：2026年1月15日(木) 15:00～17:00

■開催方法：Zoom オンライン

■プログラム：

・キーノートスピーチ

「DXによる生産性向上と自社ブランド開発」

木村石鹼工業株式会社 代表取締役社長 木村 祥一郎 氏

・ディスカッション

モデレータ：株式会社NTTデータ経営研究所

ニューロ・コグニティブ・イノベーションユニット

ディレクター 茨木 拓也 氏

ゲストスピーカー + 参加者

<第2回>

■開催日時：2026年3月2日（月）15:00～17:00

■開催方法：Zoom オンライン

■プログラム：

・キーノートスピーチ

「『嗅覚革命』による価値創造および社会課題解決に向けた取り組み」

株式会社アロマジョイン 代表取締役社長 金 東煜 (Dong Wook KIM) 氏

・ディスカッション

モデレータ：株式会社NTTデータ経営研究所

ニューロ・コグニティブ・イノベーションユニット

ディレクター 茨木 拓也 氏

ゲストスピーカー + 参加者

(8)「地域防災DX推進プラットフォーム」に向けた取り組み

①関西防災減災推進プラットフォーム

自然災害の多発・激甚化や南海トラフ地震発生の切迫性を背景に、企業BCPおよび地区防災の高度化を目的として、「関西防災減災推進プラットフォーム」の検討を継続的に推進した。

2025年12月には、「関西防災情報ポータル（リリース版）」の運用を開始し、地域防災DXの社会実装に向けた基盤整備を進めた。また、防災関係機関・自治体・研究機関・企業等との連携強化を目的として、連絡会を開催し、防災情報の利活用やBCPへの適用可能性について議論を行った。

■ 関西防災減災推進プラットフォーム 第4回連絡会

日時：2025年4月21日（月）15:00～17:00

場所：大阪ビジネスパーク クリスタルタワー20階 E会議室+Web

座長：京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 矢守 克也 教授

主な内容

- ・連絡会の概要および主要テーマ
- ・災害情報ポータルの目的と想定利用者

- ・第3回連絡会での意見整理
- ・アルファ版試用アンケート結果の共有
- ・防災関連コンテンツとユーザーインターフェースに関する議論
- ・南海トラフ地震を想定したBCPユースケースの整理
- ・災害情報ポータルのBCP活用方策の検討

出席者：37名（KIIS関係者を除く）

■ 関西防災減災推進プラットフォーム 第5回連絡会

日時：2025年12月8日（月）15:00～17:00

場所：大阪ビジネスパーク クリスタルタワー20階 E会議室+Web

座長：京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 矢守 克也 教授

主な内容

- ・「関西防災情報ポータル（リリース版）」および地域防災DXに関する報告
- ・防災分野におけるデータ流通促進施策の動向共有
- ・関西防災情報ポータルの社会実装に向けた意見交換

出席者：31名（KIIS関係者を除く）

本活動を通じて、関西地域における防災情報連携の基盤形成を進めるとともに、企業BCPと地区防災を横断的につなぐ地域防災DXの方向性について検討を深化させた。

②スマートインフラセンサ利用研究会

インフラ構造物の維持管理に加え、防災・減災分野におけるセンサ技術の活用推進を目的として、「スマートインフラセンサ利用研究会」（座長：東京都市大学 特任教授 矢吹 信喜 氏）の活動を強化した。

2025年度は、堺市美木多地区および池田市国道法面において、亀裂変位の継続計測を実施した。また、JACIC 社会基盤情報標準化検討委員会の助成テーマ「防災・減災に資するインフラ構造物等の画像情報等共有化のための標準化検討」を継続推進し、災害画像メタデータ標準化案やGIS災害画像プロトタイプシステム案の検討を進めた。

さらに、高槻市および大東市の危機管理部門への提案活動を実施し、防災DX分野における実装可能性の検討を行った。

■ 社会基盤情報標準化検討小委員会

第4回

日時：2025年7月17日 13:20～14:45

場所：クリスタルタワー20階 E室+Web

主な内容

- ・センサネットワーク技術を活用したインフラモニタリング
- ・活動3項目の進捗報告

- ・ KIIS 関連活動報告

出席者：17 名

第 5 回

日時：2025 年 12 月 11 日 13:20～14:45

場所：クリスタルタワー20 階 A 室+Web

主な内容

- ・ 衛星 SAR による広域モニタリング
- ・ 活動 3 項目の進捗報告
- ・ KIIS 関連活動報告

出席者：19 名

第 6 回

日時：2026 年 3 月 18 日 13:20～14:45

場所：クリスタルタワー20 階 E 室+Web

主な内容

- ・ 光学衛星データを活用した行政 DX 等の国内外活用事例
- ・ 活動 3 項目の進捗報告
- ・ KIIS 関連活動報告

■ スマートインフラセンサ利用研究会

第 35 回

日時：2025 年 7 月 17 日 15:00～17:00

主な内容

- ・ センシング DX グループの取組紹介
- ・ インフラモニタリング TF 活動および IoT 向け衛星通信動向
- ・ JACIC 小委員会活動報告
- ・ 関西防災減災推進プラットフォームの検討状況共有

出席者：40 名

第 36 回

日時：2025 年 12 月 11 日 15:00～17:00

主な内容

- ・ 道路メンテナンスと防災対応
- ・ 既存センサ情報処理による新たな知見とプロジェクト提案
- ・ JACIC 小委員会活動報告
- ・ 関西防災減災推進プラットフォームの検討状況共有

出席者：37 名

第 37 回

日時：2026 年 3 月 18 日 15:00～17:00

主な内容

- ・道路維持管理ツールの紹介
- ・点検映像を活用した社会インフラ AI 実装研究
- ・JACIC 小委員会活動報告
- ・関西防災減災推進プラットフォームの検討状況共有

本研究会を通じて、インフラモニタリング技術と地域防災 DX との連携領域を可視化するとともに、標準化およびデータ連携の方向性に関する議論を深化させた。

③地区防災計画研究会

地区防災計画の実効性向上と持続的運用を支える人材育成を目的として、「地区防災計画研究会」を開催した。

本研究会では、「地区防災計画を支える人は、どのように担い手となっていくのか」をテーマに、基調講演、事例報告、パネルディスカッションを通じて、担い手育成のあり方や実践上の課題について議論を行った。

■地区防災計画研究会

日時：2026 年 3 月 27 日（金）15:30～17:30

場所：一般財団法人関西情報センター 第一会議室

テーマ：「地区防災計画を支える人は、どのように担い手となっていくのか」

主な内容

- ・基調講演
「地区防災計画を支える人は、いかにして担い手となっていくのか」
三重大学大学院工学研究科 教授 川口 淳 氏
- ・事例報告
 - 1) 「地区防災の人材育成 ゼロ番地 ～人材発掘のヒント～」
大槻 由美 氏（NPO 法人とれじゃーBOX 理事長）
 - 2) 「芦屋市南浜町 2 街区 地区防災計画づくり」
大神 俊治 氏（芦屋市南浜町 2 街区自治会 防災担当）
 - 3) 「芦屋市の地区防災計画の推進について」
西川 隆士 氏（芦屋市 防災安全課）
- ・パネルディスカッション
大槻 由美 氏（NPO 法人とれじゃーBOX 理事長）
大神 俊治 氏（芦屋市南浜町 2 街区自治会 防災担当）

西川 隆士 氏（芦屋市 防災安全課）

本研究会を通じて、地区防災計画を「策定」で終わらず、地域に根差した継続的な運用へつなげるための人材育成や関係構築の重要性について、参加者間で理解を深めた。

出席者：16 名

3. 国・自治体・企業等におけるプロジェクトの受託

①令和 7 年度総務省請負事業「地域のセキュリティコミュニティの強化に向けたインシデント演習等の運営の請負」および「地域のセキュリティコミュニティの強化に向けた CTF イベントの運営及び調査研究の請負」

⑦インシデント演習の企画及び運営（全国 11 管区 14 か所）

主に中小の地域セキュリティのコミュニティ加入事業者を対象に、全国 11 カ所の総合通信局管区にて実施。効果的なインシデント対応についての講義を 1 時間行った後、PC を使用してインシデントとなり得るリスクを疑似体験する実機演習を 45 分、インシデント対応の意思決定を行う机上演習を 2 時間実施した。

実施した演習の詳細は下記のとおり。

日程	開催地	演習テーマ	参加者数
2025/06/26(木)	秋田県	ランサムウェアの脅威	44 名
2025/09/16(火)	香川県	サプライチェーンを通じたサイバー脅威	33 名
2025/10/22(水)	埼玉県	サプライチェーンを通じたサイバー脅威	29 名
2025/10/28(火)	福岡県	生成 AI の業務利用における懸念点	31 名
2025/11/04(火)	宮城県	サプライチェーンを通じたサイバー脅威	42 名
2025/11/26(水)	鳥取県	業務システムに対するサイバー攻撃	28 名
2025/12/2(火)	沖縄県	生成 AI の業務利用における注意点	38 名
2025/12/10(水)	富山県	サプライチェーンを通じたサイバー脅威	26 名
2025/12/11(木)	京都府	サプライチェーンを通じたサイバー脅威	29 名
2025/12/22(月)	鹿児島県	フィッシングサイト経由での情報漏えい事案	35 名
2026/1/14(水)	愛知県	生成 AI の業務利用における注意点	41 名(現地 32、

	(ハイブリッド開催)		オンライン 9)
2026/1/23(金)	北海道 (ハイブリッド開催)	サプライチェーンを通じたサイバー脅威	43 名(現地 33・オンライン 10)
2026/2/19(木)	新潟県	生成 AI の業務利用における注意点	18 名
2026/2/26(木)	兵庫県	生成 AI の業務利用における注意点	42 名

④若年層向け CTF (Capture The Flag) ワークショップの企画及び運営 (全国 2 か所)

主に中学生・高校生・高等専門学校生・短大生・大学生・大学院生を対象に、全国 5 か所の総合通信局管区にて実施。近年のサイバー攻撃のトレンドおよびサイバーセキュリティに対する考え方に関する講義を 1 時間行った後、ノートパソコンを活用して講師から出題された問題を解く CTF パートを 2 時間実施した。

実施した演習の詳細は下記のとおり。

日程	開催地	参加者数
2025/07/21(月/祝)	徳島県徳島市	22 名
2025/12/14(日)	愛知県 (ハイブリッド開催)	27 名 (現地 22、オンライン 5)

⑤若年層向け CTF(Capture The Flag)全国型ワークショップの企画及び運営

主に高専生・大学生・大学院生・若手社会人(3 年目まで)を対象に参加者を全国から募り、全国 7 会場およびオンラインを結び、同一日に実施。近年のサイバー攻撃のトレンドおよびサイバーセキュリティに対する考え方に関する講義を 1 時間行った後、ノートパソコンを活用して講師から出題された問題を解く CTF コンテストを 2 時間 30 分実施、その後地域の優秀者及び全体の 1 位から 3 位までの優秀者の表彰を行った。各現地会場およびオンラインの参加者は次のとおり。

開催形式	開催地	参加者数
現地参加	東京都千代田区	40 名
	宮城県仙台市	17 名
	新潟県新潟市	3 名
	石川県金沢市	24 名
	大阪府大阪市	25 名
	島根県松江市	21 名
	福岡県福岡市	14 名
オンライン参加		323 名
合計		467 名

④地域のセキュリティコミュニティの強化に向けた施策の効果的な実施のための調査

全国 11 カ所の総合通信局管内の放送事業者・電気通信事業者を中心に、経営層やセキュリティ担当者が社内システム等にかかるセキュリティ対策を実施するうえでどのような支援を必要としているかのニーズを把握するためにアンケート調査を実施(2025年11月17日～2026年1月16日に実施)。

② 地区防災計画策定支援業務

本業務は、住民主体の地区防災計画策定を支援し、地域における防災力の向上を図ることを目的として実施。自治体担当者・地域住民・専門家が協働し、ワークショップ形式で地域課題の把握、リスク評価、避難行動計画の立案等を行い、実効性の高い地区防災計画の作成を支援した。2025年度次の各市区の各地区において防災計画策定支援を実施した。

【各地区におけるワークショップ等の実施期間及び回数】

- ・京都市左京区 松ヶ崎校区

2025年6月26日～2026年2月12日 計7回

- ・草津市 志津南学区

2025年6月14日～2026年2月28日 計8回

- ・芦屋市 三条南町

2025年8月6日～2026年2月11日 計3回

- ・芦屋市 南浜町

2025年9月21日～2026年2月17日 計4回

- ・岸和田市 修斉地区

2025年10月16日～2025年12月21日 計3回

③地区防災計画による津波等の災害に関する共助意識の向上のための調査・検討業務

(内閣府)

本業務は、地区防災計画制度の普及促進と地域防災力向上を目的として、全国的な調査・分析、研修会、シンポジウム、フォーラム等を実施した。

地区防災計画の策定状況や課題等に関する調査・分析を行うとともに、自治体職員、地域リーダー等を対象とした基礎研修会を開催し、制度理解および実践的な取り組みの促進を図った。

また、地区防災計画学会や防災関係機関等と連携し、全国フォーラムや津波防災イベントを開催することで、共助意識の醸成や先進事例の横展開を推進した。

1) 地区防災計画の調査・分析

アンケート調査結果を分析し、策定状況や課題、支援ニーズ等の把握を行った。

2) 地区防災計画基礎研修会(オンライン)

【第1回】：開催日：2025年6月13日(金)

(内容)：

■地区防災計画制度の概要及び地区防災計画ガイドブックの説明

内閣府 政策統括官(防災担当)付企画官(普及啓発・連携担当) 西澤 雅道 氏

■愛知県西尾市上羽角町自主防災会における地区防災計画の取組

西尾市 危機管理局 危機管理課 課長補佐 鈴木 徹 氏

上羽角町 自主防災会 令和6年度会長 細川 和好 氏

名古屋大学 減災連携研究センター 客員教授 田中 隆文 氏

■長崎県島原市安中地区における地区防災計画の取組

島原市 市民部 市民安全課 危機管理専門員 吉岡 伸作 氏

安中地区 自主防災会 会長 横田 哲夫 氏

専修大学 人間科学部 教授 大矢根 淳 氏

■沖縄県石垣市白保地区における地区防災計画の取組

石垣市 防災危機管理課 アドバイザー 大濱 武 氏

白保公民館 前館長 世持 豊 氏

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏

・視聴者数：662名

【第2回】：開催日：2026年1月27日(火)

(内容)：

基調講演「地区防災計画の継続的な取組（実行と改善サイクルの確立）に向けて」

熊本大学工学部土木建築学科教授 竹内 裕希子 氏

事例報告① 八千代市緑が丘西地区の取組

千葉県八千代市緑が丘西地区 緑が丘西自治会 顧問 鈴木 介人 氏

事例報告② 羽島市小熊町新生町の取組

岐阜県羽島市小熊町新生町 小熊新生防災会 会長 疋田 一男 氏

パネルディスカッション・質疑応答

「地区防災計画の持続性を育む～多様性と緩やかな連携～」

コーディネータ：東京大学生産技術研究所教授／社会科学研究所特任教授

加藤 孝明 氏

パネリスト：

減災と男女共同参画研修推進センター共同代表

/早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員 浅野 幸子 氏

大阪公立大学都市科学・防災研究センター教授 生田 英輔 氏

香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター特命准教授 磯打 千雅子 氏

熊本大学工学部土木建築学科教授 竹内 裕希子 氏

視聴者数：637名

3)内閣府×地区防' z×地区防災計画学会 連携シンポジウム

開催日：2025 年 6 月 22 日(日)

内容：登壇者

京都大学 防災研究所 教授 矢守 克也 氏

東京大学 生産技術研究所 教授/社会科学研究所 特任教授 加藤 孝明 氏

跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏

高知県 高知市 防災政策課長(地区防' z) 山中 晶一 氏

福知山市 災害時ケアプラン推進係長(地区防' z) 高橋 和利 氏

Life+Lifelaboratory 代表(地区防' z)元沖縄県北谷町職員 松村 直子氏

・視聴者数：850 名

4)地区防災計画フォーラム(ハイブリッド)

開催日：2025 年 9 月 6 日(土)

内容：登壇者

神戸大学 名誉教授(地区防災計画学会名誉会長) 室崎 益輝 氏

京都大学 防災研究所 教授(地区防災計画学会会長) 矢守 克也 氏

東京大学 生産技術研究所 教授(地区防災計画学会副会長) 加藤 孝明 氏

香川大学 IECMS 准教授 磯打 千雅子 氏

兵庫県立大学 減災復興政策研究科 准教授 澤田 雅浩 氏

日本赤十字社 事業局救護・福祉部長 佐藤 展章 氏

・会場参加：127 名／オンライン：685 名

5)津波防災の日スペシャルイベント(オンライン)

開催日：2025 年 11 月 5 日(水)

コーディネータ：

東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授 片田 敏孝 氏

登壇者：跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 氏

香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター 准教授 磯打 千雅子 氏

釜石市 防災危機管理課長 土橋 照好 氏

下知地区 減災連絡会 会長 皆本 隆章 氏

高知市 防災政策課長 山中 晶一 氏

視聴者数：504 名

6) モデル地区事業

全国 8 地区において、各地区 3 回程度のワークショップ等を実施し、地区防災計画の策定支援を行った。

対象地区：

釜石市唐丹町荒川地区、仙台市福住町、足利市名草地区、柏崎市高田地区、長野市日詰区、宝塚市西谷地区、広島市温品学区、熊本市中島校区

④実践的な防災行動定着のための情報調査及び発信事務局運営業務(内閣府)

本業務は、自然災害に備えた住民の防災行動定着を目的として、Team 防災ジャパン（TBJ）ポータルサイトの運営、情報発信、全国的交流イベントの企画・運営を実施した。

ポータルサイトや SNS 等を活用し、防災の最新動向や地域の実践事例等に関する継続的な情報発信を行うとともに、地域防災の担い手に対する情報共有およびネットワーク形成を推進した。

1) ポータルサイトを活用した情報発信

ニュース、メルマガ、X、Facebook を用い、毎週 1～2 回の継続的な情報発信を実施。外部からの情報提供、受付け、問合せ対応を実施。防災の最新動向、地域の実践事例等を広く共有した。

2) 運営会議

TBJ 関係者約 45 名による運営会議を年間 12 回開催し、特集企画、イベント運営、今後の事業展開等について協議を行った。

3) アドバイザー会議

防災分野の有識者によるアドバイザー会議を年間 4 回開催し、事業運営や今後の展開等について意見交換を行った。

（アドバイザー会議メンバー）：

早稲田大学・減災と男女共同参画研修推進センター	浅野 幸子 氏
跡見学園女子大学 教授	鍵屋 一 氏
東京大学 教授	加藤 孝明 氏
時事通信社	中川 和之 氏
名古屋大学 名誉教授	福和 伸夫 氏
兵庫県立大学 教授	阪本真由美 氏

4) ぼうさいこくたい（新潟市開催）2025 年 9 月 6 日（土）～7 日（日）

① 会場ツアー

ぼうさいこくたい会場内において、防災関連展示を巡る会場ツアーを実施した。

参加者数：60 名

② 大交流会

ぼうさいこくたい参加団体による交流会を開催し、防災分野における情報共有および連携促進を図った。

参加団体数：127 団体

4. 情報化推進事業

(1) 公共施設情報システムサービス

地方自治体が保有するスポーツ施設と文化施設の予約・抽選機能を備えた公共施設情報システムをクラウドサービスとして提供中。大阪府下自治体向けのスポーツ施設予約サービス(OPAS)と、スポーツ施設・文化施設の予約サービス(ESPAL)をあわせて 22 自治

体でトラブルなく、安定したサービスを提供している。

OPAS は顧客満足度の向上を目的に 2025 年度機能追加(エンハンス)を実施し、2026 年 4 月から自治体にサービスを提供した。

政令指定都市向けに提供している案件では、昨年度から折衝を続けてきた施設追加は受注済みの 1 案件を除き次年度対応となったが、利用者の利便性を向上させる仕組みを PoC として受託し、今後の機能拡張の足掛かりを作った。

(2) 情報セキュリティシステム構築支援事業（セキュアサポートサービス等）

日常のビジネス活動において簡単でかつ安心・安全なデータの交換や保管を実現するための実用的なセキュアサービスの提供と、自治体におけるシステムの運用サービスを提供しており、問題なく安定した運用を行っている。

5. 社会システム支援事業

＜社会保健・福祉サービスソリューション＞

(1) 健康保険組合業務サポート事業（基幹システム及び周辺サービスの提供および運用保守）

○基幹システムサポート保守

- ・引き続き全国320／1379の健康保険組合に基幹システムやオプションシステムの提供と運用支援を行った。
- ・32組合の関西組合基幹サーバのデータセンター運用をトラブル無く実施した。
- ・HP構築運用を始めとする健保DXサポートサービス(99組合)及び保健事業関連システム(155組合)の提供と運用支援を行った。
- ・データエクステンジサービス（KX）利用の22組合に対してトラブル無く運用を実施した。
- ・基幹システムサポートに関する2026年度以降の業務実施体制について整理・検討を進め、日本生産性本部へのサポート業務移管と今後の協業体制を確立した。

○健保業務DX推進（健保DXサポートサービス・データエクステンジサービス）

- ・2025年12月に実施されるマイナンバーカードの保険証利用義務化(現行保険証廃止)に伴い、「資格確認書一括発行」を35組合から受託し、無事完了した。また、「資格情報のお知らせ」のWEBシステムからのダウンロードを2組合で開始した。
- ・2026年04月01日より開始される国策「子ども子育て支援金」制度に関するシステム開発を行い、問題なくリリースした。
- ・健保DXサポートサービスについて、2025年度は新規5組合に対してホームページ構築運用等を開始した。
- ・データエクステンジサービス（KX）について、2025年度は9組合に導入を完了した。

○ユーザー会事業推進

- ・近畿地域のユーザー会総会を6月26日、12月16日に実施した。
- また、ユーザ会研修会を東京で3月5日～6日に実施した。

6. 情報化社会基盤整備事業

(1) プライバシーマークの審査、認定

＜プライバシーマーク制度の概要＞

プライバシーマーク制度は事業者が個人情報を適切に取扱う体制等を整備・運用していることを認定し、その証として「プライバシーマーク」の使用を認める制度であり、利用者と事業者双方に個人情報保護の意識を高め、安全な利用を促す目的を持つ。

当財団では関西地域及び福井県におけるプライバシーマーク指定地域審査機関として、プライバシーマーク付与に係る申請の受付・審査と付与適格決定可否等の業務を行っており、2026年3月現在の付与事業者数は、全国17,736社、当財団1,756社となっている。

＜審査件数等の状況＞

2025年度の4月～3月の実績は次のとおりで、申請件数が前年同月をわずかに下回っている点については一過性の事象と想定しているが、普及促進活動を推進することで安定した申請件数を確保していく。審査件数と適格認定件数は前年同月並みであり、引き続き、審査体制の維持に努める。

	新規	更新	合併分社	合計	前年同月	前年比
申請件数	63	760	19	842	881	95.6%
審査件数	80	847	9	936	908	103.1%
適格認定件数	77	847	19	943	932	101.2%

＜重点取組事項の状況＞

①新規件数の拡大

新規認定事業者の獲得を目的として、今年度から新しい施策である普及促進活動を実施、JIPDECとの連携強化を行った。JIPDECが作成したプライバシーマーク制度の普及促進用の資料を、大阪府行政書士会に登録されている行政書士に配付することで、事業者に対する制度の認知度を上げる活動を行った。

②審査件数の拡大

審査件数の増大に対応するために、継続的に審査員を確保してきた。他審査機関に所属する審査員の当財団への登録や、関西企業OB会や士業協会への働きかけを今後も継続的に実施していく。また、審査実績の多い審査員の主任審査員への格上をタイムリーに行い、審査キャパシティの確保に努めた。

③非更新件数の減少

認定事業者のPMS成熟度を向上させることで非更新件数の減少を防止する取組みを行った。審査報告書を確認することで事業者のPMS成熟度を把握し、今後の審査員の割当の適正化に活用した。当財団内部の取組みとして研修チームとの連携強化による事業者向けのセミナーを12月に開催し、最終的には692名の申込があった（セミナ

参加、動画視聴含む)。認定事業者が多い誤りをテーマとして取り上げる事でPMS成熟度の向上を目指すことを目的として実施した。

④デジタル化への対応

事業者からの申請手続きの利便性向上を目指し、従来の紙申請からデジタルで受け付ける仕組みを開発した。

7. 広報・交流活動事業

(1) 社会に向けた情報発信の充実

ホームページについて、4月から3月の訪問者数は月平均1,232名(前年同期比102%)であり、閲覧回数は月平均1,984回(前年同期比95.9%)であった。また、フェイスブック(SNS)については、4月から3月の投稿閲覧数は月平均769件(前年同期比422.4%)となった。セミナー等の開催報告を増やし、写真を使うといった手法により多くの方に活動を周知することができた。その他メールマガジンを通じて、新春賀詞交歓会や先端技術・ビジネス動向研究会、e-Kansaiレポート公開など、当財団主催のイベント、セミナーや関連団体の情報を計38回配信した。

(2) 財団設立55周年を踏まえた広報活動の実施

2025年は、当財団の設立55周年にあたることを踏まえ、ホームページに財団の歴史に関する特設ページを開設したほか、55周年記念ロゴの作成、パンフレットの刷新等を行った。

(3) 賛助会員の方々のニーズに合った情報提供、交流の場の提供

①新春講演会及び交流会を次のとおり開催した。

日時：2026年1月16日(金) 16:30～18:30

会場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）

内容：ご挨拶 一般財団法人関西情報センター 会長 尾崎 裕

①講演会(オンライン)

「生成AI開発・利活用を巡る政策の最前線」

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 AI産業戦略室 総括補佐
秋元 裕太 氏

②交流会・情報交換会

来賓ご挨拶 総務省 近畿総合通信局長 野水 学 氏
経済産業省 近畿経済産業局長 信谷 和重 氏

参加者：85名

②KIISの最近の活動状況を紹介する機関誌「KIIS VISION」を次のとおり発行した。

KIIS VISION vol.2 (2026年1月発行、配布先：賛助会員 等)

ごあいさつ

一般財団法人関西情報センター 会長 尾崎 裕

特集「大阪・関西万博の成果と関西経済の成長戦略」

アジア太平洋研究所研究統括兼数量経済分析センター長 甲南大学名誉教授
稲田 義久

1. IT シンポジウム インフォテック 2025 の実施報告

「輝けイノチ！～ハピネス・ドリブン・ソサエティの創出に向けて～」

イノベーション創出支援グループ マネジャー 秋田 治

2. DX が導くハピネス・ドリブン・エコノミーの未来

～「e-Kansai レポート 2025」より～

イノベーション創出支援グループ 主任研究員 渡邊 智子

3. 先端技術・ビジネス動向研究会

KIIS Advanced Business Intelligence and Technology Forum (ABIT-Forum) に
ついて

イノベーション創出支援グループ 主任研究員 江口 麻衣子

4. KIIS におけるサイバーセキュリティ関連各事業について

イノベーション創出支援グループ グループマネジャー ・ 主席研究員 石橋 裕基

5. 関西防災情報ポータルを紹介

イノベーション創出支援グループ マネジャー 藤本 剛

以 上

(附属明細書について)

2025 年(令和 7 年)度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため作成を省略する。